

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(愛媛県立小松高等学校)

学校番号 (11)

評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 12 日 (木)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	越智 敏雄	学校評議員 西条市社会福祉協議会小松支所長	
	眞鍋 明	学校評議員 株式会社マルブン会長	
	村口 日出子	学校評議員 国際ソロプチミストいしづち会長	
	三崎 淳	学校評議員 小松公民館長	
	曾我部研二	学校評議員 氷見交友会館長	
	真木 浩司	西条市立小松中学校長	
	越智 洋子	西条市立小松小学校長	
	吉實 勇治	P T A 会長	
	石川 裕康	P T A 顧問	
	佐伯 満昭	P T A 副会長	
	笠原 勇輝	P T A 副会長	
	十亀 博行	P T A 副会長	
	三木 幸恵	P T A 副会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 教科指導力向上のための情報交換や研究、I C T 活用に努めることにより、教職員が、「分かる授業」の実践に取り組んでいる。授業参観でも感じるが、生徒は落ち着いた態度で学習していることが分かる。 I C T 活用については、生成 A I の活用スキルを教職員で共有していくのも 1 つの方法だと思う。 (2) 生徒指導 昨年度と同様、小松高校生は挨拶がよくできている。時間を守ることは、将来の社会人としての信頼につながることから、その重要性を生徒に理解させ、高い意識をもたせることにより、遅刻を減らしていくよう指導を続けてほしい。 ルール厳守について、自転車の罰則が厳しくなったので、より指導を充実してほしい。	・授業において、教員は I C T を積極的に活用している。また、自主的に研究授業を実践する教員もあり、主体的に自己研鑽に努めることができた。生成 A I の活用スキルについては、担当課を中心に、学校全体でスキル向上を図っていく。 ・挨拶については、継続して学校全体で取り組んでいきたい。遅刻については、社会のルールや時間を守る重要性を丁寧に伝えていくとともに、家庭と連携しながら、個別支援をきめ細かく行っていく。 ・自転車に関する交通指導については、罰則強化を踏まえ、学校全体で指導を徹底するとともに、マナー向上に取り組んでいく。

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
(3) 進路指導 将来、何をしたいか、どう生きていくかをある程度決めないと進路は定まりにくいと感じるので、そのための情報を生徒に与えてあげると考えやすいのではないかと。 (4) 特別活動 運動部、文化部ともに充実した活動が行われている。また、近年、小松地域での活動が盛んに行われている。こういった経験は、社会生活をする上で大変有用だと考える。 2 学校運営への提言 (1) 来年度より新校となる。学校選びは、在校生や保護者の声が大きく影響するので、PTA等のPRがあるとよい。 (2) 命の守り方に関する教育を行ってほしい。	・ 1年次から進路意識を高める指導を充実させていく。また、さらなる進路に関する情報提供等に努め、情報伝達の方法についても工夫していく。 ・ 運動部、文化部ともに県大会以上の大会に出場するだけでなく、好成績を収める活躍が見られた。結果だけでなく、過程についても大事にしていく。 地域における活動については、生徒を成長させる場として捉え、部活動や探究学習、ボランティア活動等を通して、積極的に行っていく。 ・ 新校のホームページを立ち上げ、Instagramにおける情報発信を定期的に行っている。小松高校教職員と新小松高校の教職員同士がコミュニケーションを図り、生徒、保護者の満足度を高めていく。 ・ 情報リテラシーや心の健康への配慮を含め、学校と家庭が連携して、命を守る力を総合的に身に付けられるよう、指導を一層充実させていく。